

第1回PTA組織検討に係るワーキング会議
意見交換まとめ

【PTA組織の在り方】

- ・ 保護者自身が楽しく、学校と関わっていけるような組織とする。
* 保護者が楽しむ＝子どもたちが楽しむことが出来る
- ・ 保護者一人一人がPTA組織の必要性を理解する。

【新PTA組織体制について】

- ・ 全ての保護者がPTA組織に携われるような組織とする。
* 鳥上、馬木校区では全員参加型のPTA組織を構築しており、負担の偏りが少ないため。
- ・ 学年委員は、学年活動の企画、開催日程の調整など負担が大きいと考える。
- ・ 児童数は、今後も減少することを見込んだ組織体制を検討する。
- ・ 現行の体制よりもスリム化を図り、分かりやすい体制とする。
- ・ 専門部という位置づけから、年間で決められた回数は行事に参加する、全員参加型としてはどうか。
- ・ 選任副会長という役職は負担ではあるが必要と考える。
* 急に会長となる方が負担に感じる

【PTA組織を負担と感じていた要因】

○会長

- ・ 挨拶をする場面が多い
- ・ 会議が多い * 仕事を休んで出席する会議もあり

○その他

- ・ 各役職の活動内容が見える化されないまま、役職を引き継ぐことが多い。→やらされている感覚になる
- ・ 組織全体の各役割を全保護者が認識していないため、自分だけが仕事をしている感じがする。＝組織全体の見える化